

学生協ニュース

No.67

東 北 大 学
(学生生活協議会広報専門委員会)

学生団体等に対する課外活動施設の管理運営に関する 説明会が開催されました

かねてより学生生活調査や大学担当窓口で課外活動施設の管理運営、特に部室の配分を求める声が学生のみなさんから多く寄せられており、大学は、こうした要望に答えるため、7月20日（金）午後6時から川内北キャンパス講義棟A200教室で「学生団体等に対する説明会」を開催しました。説明会には、220名を超える学生団体の代表者等や顧問教員、非公認の文化部サークル協議会(サ協)を名乗る者らが出席しました。

当日は、大学によるこれまでの課外活動施設の整備、部室配分の状況等について説明があり、①2011年の学生生活調査において、「部室がほしい」、「被災施設の復旧」等、課外活動に対する要望等が多く寄せられたこと、②サークル部室に関する教養部時代から教養部廃止以降と新サークル会館完成時の部室配分、③学生団体の支援充実のため平成16年に学友会を改組したこと、④新サークル会館建設以降の主な課外活動施設の整備状況、⑤震災で使用できない施設があることから学友会からサ協に部室明け渡しを昨年度に求めたが応じなかったこと等について説明がありました。

引続き、質疑応答が行われた後、川内サークル会館空き部室2室の配分方針をサ協又は学友会のどちらを希望するか、出席者に賛否を求め、学友会で配分していくことが圧倒的な賛同の下、了承されました。

この結果を受けて、川内サークル会館の空き部室2室について、26日（金）の学友会全学協議会で女子ラクロス部及びゴルフ部に配分することと、今後学友会が部室の配分・管理・運営を行っていくことが全会一致で承認されました。

なお、20日の説明会には、サ協や学生自治会を名乗り、すでに本学の学籍を失った4名の学外者が教室内に立ち入ろうとするなど一時騒々しくなりましたが、議事進行には支障ありませんでした。

大学は、今後も学友会等と連携し、課外活動に対して学生団体からの要望に応じていく所存ですので、ご理解ならびにご支援をお願いします。

震災で使用停止となっていた片平体育館の復旧工事が終了し、8月から以前のように学生・教職員が活動できるようになりました。

川内北キャンパスの新課外活動施設整備計画については、現在、埋蔵文化財の調査が行われています。震災復旧建物の工事に関連して同調査件数が増えたことにより開始が遅れ、平成25年12月末の完成予定が若干遅れる見込みとなっています。